

## 自ら考えまだ見ぬ境地へ

大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻  
木田研究室 博士前期課程2年

紀平 諒

これから私、紀平諒が木田研究室の紹介をさせて頂く。我がラボの魅力が詰まった文章なので、是非ご一読いただきたい。

木田研究室は、工学研究科の応用化学専攻、分子創成化学コースに属しており、「人と環境にやさしい高機能材料の創出へ」をモットーに研究活動にいそしんでいる。天然由来の原料を用いて、有用な分子や分子集合体を創製し、さらにその物性評価、工学的利用を行っている。人の健康を脅かす物質を安価で効率的に除去する材料の創出等、実用性を重視した研究を展開していることは、木田研究室の強みであろう。

現在、木田研究室は総勢23名（先生3名 秘書さん1名 研究員1名 博士後期課程学生1名 博士前期課程学生9名 学部学生5名 留学生3名）で活動している。研究室の特徴は、とにかく学生間の仲が良いこと。毎日お昼ご飯は一緒に食べるようにしている。七夕の日にはみんなで短冊を作ったりクリスマスにはパーティーを行ったり、土日には釣りに行ったり、ラボ全体を巻き込んで研究室生活を楽しんでいる。学生も個性豊かな面々であり、徹夜で麻雀をし、眠そうに登校する者、研究の合間に編み物をし、大作を作る者や、口を開けば悪口を言う者等様々だ。

一方、木田研究室の研究活動の特徴について一言でいうと、自主性の塊だ。学生一人ひとりが自分のテーマと向き合い、あれこれ試行錯誤しながら研究を進めていく。わからないところ、うまくいかない



→忘年会（休み前なのでみんなウキウキ）

ところがあれば、自主的に先輩や先生に質問しに行き、議論を交わしていく。時にはうまくいくとは到底思えない無謀な試みをする学生もいる。そんな自由に、好き勝手に研究できる風潮が木田研究室には存在している。この風潮を生んでいるのはもちろんわれらがボス、木田先生だ。木田先生は未知を解き明かす楽しさを知っている。理解できないことを自分で調べて考え、分かった時の嬉しさを知っている。学生にもその気持ちを感じてほしい。我ら木田研メンバーは木田先生のそんな期待を一身に受けて、邁進する。

自ら考えたその先の世界を求めて、今日も研究という難攻不落の強敵に立ち向かう。まだ見ぬ境地へ到達したい方は気軽に木田研究室まで！

■次のページに、研究室のメンバーと年間の行事および雰囲気の伝わる写真をいくつか掲載しています。

 研究室メンバー（現時点23名）



 一年間のスケジュール

- |      |           |      |                           |
|------|-----------|------|---------------------------|
| 4月   | 新歓コンパ     | 8月   | 院試 (B4)                   |
| G.W. | BBQ       |      | 院試お疲れ飲み会                  |
| 5月～  | 堤杯        | 10月～ | 吹田祭 (工学部全体のスポーツ大会)        |
| 7月   | 報告会       | 12月  | 報告会、忘年会                   |
|      | 院試がんばれ飲み会 | 2～3月 | 修論、卒論発表、お疲れ飲み会<br>追い出しコンパ |

修論お疲れ会

